

# 白神の絆



令和7年8月29日発行

イワナ（暗門溪谷で撮影）

No. 227（8月号）

【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

## 令和7年度第1回白神山地世界遺産地域合同パトロール

（青森県側）を実施しました

白神山地世界遺産地域内では、依然としてゴミ等マナー違反が散見されており、こうした行為の未然防止、入山者のマナー向上の啓発活動のため、白神山地世界遺産地域巡視員、白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関等による合同パトロールを年2回実施しています。

今年度の第1回合同パトロールは令和7年7月12日（土）に①ブナ林散策道（西目屋村）コース、②高倉森登山道（西目屋村）、③白神岳（深浦町）コースの3つのコースで実施しました。当初は7月5日の予定でしたが、雨天予報のため延期し、予備日としていた12日に実施したところ、好天で暑すぎず、登山にはちょうどいい天気でした。各コースの実施状況についてお伝えします。

①ブナ林散策道コースには、局委嘱巡視員の他弘前警察署と津軽森林管理署、当センターの計7名が参加し、散策道入口で来訪者約30名へマナーパンフレットを配布し、ブナ林散策道大回りコースを巡視しました。散策道にゴミなどはありませんでした。



散策道入口でパンフレット配布

②高倉森コースには、局委嘱巡視員、県委嘱巡視員、環境省西目屋保護官事務所、東北森林管理局、津軽森林管理署のほか、巡視員の後継者確保に向けた試行的な取り組みとして事前に募集した一日ボランティア巡視員として大学生（弘前大学、日本大学大学院）2名が参加し、合わせて15名で巡視を行いました。津軽峠駐車場でマナーパンフレットを配布し、高倉森山頂まで往復しましたが、一日ボランティア巡視員の大学生たちは、笑顔でパンフレットを配布



1日ボランティア巡視員（手前2人）

し、落ちていた軍手などを回収してくれました。

③白神岳コースには、県委嘱巡視員、環境省西目屋保護官事務所、白神山地ビジターセンター、鯨ヶ沢地区消防組合、鯨ヶ沢警察署、東北森林管理局、当センターの計15名が参加し、パンフレット配布班と登山班に分かれて実施しました。当日は朝7時には駐車場がほぼ満車状態になっていて、大半の登山者は出発済みでしたが、パンフレット配布班の鯨ヶ沢警察署の方々が駐車場で登山者に対しマナーパンフレット等を配布しました。また、登山班は2班に分かれ、マテ山コースを登り白神岳山頂までパトロールしました。途中出会った登山者にマナーパンフレットを配布し、登山道に落ちていた若干のゴミを回収しましたが、無断伐採などの違法行為は確認されませんでした。



登山道巡視

今回は実施日を翌週に延期したにもかかわらず、多くの方に参加いただきパトロールを実施することができました。改めて関係各位に感謝申し上げます。

引き続き関係機関と連携し、白神山地の入山者のマナー向上の啓発活動に努めてまいります。

## 第20回白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会を開催

7月17日（木）中津軽郡西目屋村白神山地ビジターセンター会議室において「第20回白神山地周辺の森林（もり）と人との共生活動に関する協議会」を開催しました。本協議会は、白神山地森林生態系保護地域（世界遺産地域）周辺の保全管理及び自然再生活動、モニタリング調査に係る事項について協議し、森林管理局長に提言することにより、この地域の円滑な管理運営を図ること目的として平成19年に設置されております。

本協議会の委員は、学識経験者、地方公共団体関係者、ボランティア団体代表者等で構成されており、当日の協議会には、委員11名、事務局7名の計18名が出席しました。



協議会の様子

当日は、東北森林管理局 森林整備部長の開会あいさつにはじまり、その後、座長に弘前大学白神自然環境研究センター 山岸 洋貴 准教授が選出され、議事に入りました。

初めに、議事（1）当センターより平成27年度に列状間伐を実施した林地の広葉樹

侵入等に関するモニタリング調査の経過報告と令和6年度自然再生活動（一般募集で7月と9月に実施した広葉樹の掘り取り・植樹・暗門溪谷のブナ林散策道でブナの植生などの森林生態系を学ぶ活動）及び令和7年度自然再生活動計画についての報告、議事（2）各団体からの令和6年度事業活動報告及び令和7年度事業活動計画についての報告、議事（3）青森県西北農林水産事務所及び津軽森林管理署より松くい・ナラ枯れ被害状況とその対策について説明があり、それぞれ質疑応答が行われました。団体からの報告では、活動ができている団体もありますが、会員の高齢化や、今後の担い手不足により活動が難しくなっているとの報告がありました。また、県や津軽森林管理署からはナラ枯れ及び松枯れ被害木が深浦町を中心に近年著しく増加している状況が報告され深刻な状況が共有されました。

次に、議事（4）その他にて昨年度と同様に、令和6年度白神山地周辺地域（青森県側）における中大型哺乳類調査業務報告書から、ニホンジカ、イノシシ、クマ、ハクビシンなどのセンサーカメラで撮影された動物の頭数、撮影地点について情報提供を行いました。

また、最後に事務局側から、設置要領改正について提案がありました。「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」を、白神山地周辺の自然再生に関する委員会へ変更したい旨の提案で、時代の変化や活動に課題が生じるなか自然再生計画の進捗状況について、地元の関係者を主体に多様な視点で意見を伺い、自然再生を柔軟に進めていく場に変更したい旨の説明がされました。要領（案）に明記されていない協議事項については完成させてから文書により通知することとなり、最後に当センター所長のあいさつがあり閉会となりました。

当日、いただきました御意見や情報、ご助言を参考に今後につきましても自然再生活動を進めてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

協議会へ参加された委員の皆様、マスコミ関係者様、事務局の皆様、暑い中、長時間にわたりお疲れ様でした。

## 第36回白神山地ビジターセンターふれあいデー 親子木工教室

白神山地ビジターセンター主催の第36回白神山地ビジターセンターふれあいデーが7月19日（土）～7月20日（日）に西目屋村で開催されました。

当日は、親子で周ろうクイズラリー、木登り体験、クラフト体験、ブナコ制作体験ミニなど、たくさんのブースで行われ、津軽白神森林生態系保全センターでは職員3名で親子木工教室を実施しました。

実施内容は当センターが用意したスギ間伐材を利用した「プランター&イス」自在キ



親子で力を合わせて

ットを用いてプランターか子供用イスの好きな方を親子で作成していただく内容です。当日、センター職員が作り方をサポートしながら、申し込みいただきました計 15 組に実施しました。プランター&イスを作り上げる時間は約 40 分～1 時間ほどで、参加された子供さんは楽しそうに、お父さん、お母さんと一緒に金槌で釘を打ちながら作成していました。作成後、お決まりの記念撮影で、笑顔で完成品を持つての撮影や、イスに座って撮影するなど、みなさん満足されていました。

当日の参加された方の感想ですが、「とても楽しかったです！また機会があれば是非参加したいです。」「制作にはじめて参加しました。スタッフの方が丁寧に教えていただき、とても楽しかったです。次回も参加したいと思います。」「これがきっかけで子供の興味の幅が広がってくれればと思っています。楽しい教室をありがとうございました。」また、子供さんからは、「手が疲れたけどりっぱなイスができました。」など、たくさん感想をいただきました。



完成したイスに座って

白神山地ビジターセンターふれあいデーは秋にもまた開催予定とのことから、親子木工教室を通して、心に残る、また満足していただけるように当センターでも秋の実施に向けた準備をしていけたらと思っております。

最後になりますが、親子木工教室に参加された方々ありがとうございました。また、白神山地ビジターセンター職員の方々、すべてのブースや会場のスタッフの方々 2 日間にわたりお疲れ様でした。

## ツキノワグマに注意

